

東日本大震災みやぎこども育英募金
寄附者の皆様へのメッセージ

～東日本大震災みやぎこども育英基金奨学金の受給者の皆様から～

本メッセージ集につきまして

東日本大震災では、多くの子どもたちが被災し、様々な問題を抱えることとなりました。子どもを取り巻く環境や課題は、時間とともに変化してきており、今後も、中長期的に支援を続けていく必要があります。

宮城県では、全ての子どもたちが困難を乗り越え健やかに育っているよう、皆様から「東日本大震災みやぎこども育英募金」にお寄せいただいた御寄付を基金として積み立て、子どもたちの支援に活用しています^{※1}。

中でも、「東日本大震災みやぎこども育英基金奨学金」は、子どもたちが安定した生活を送り、希望する進路選択を実現できるよう、未就学児から大学生等まで、未就学児支援金及び奨学金として、月額金及び入学・卒業時一時金を支給し、長期的・継続的に支援するものとなっています。

同奨学金の支給実績は、令和4年3月末までで計1,091人であり、これまでも、受給者や受給者の保護者の皆様から、寄附者の皆様への感謝の気持ちなどを綴ったメッセージが寄せられています^{※2}。東日本大震災の発生当時に胎児であった受給者は、令和3年4月には小学校4年生になりました。このたびのメッセージ集には、令和3年度の受給者とその保護者の皆様から寄せられたメッセージを掲載しています^{※3}。

受給者、保護者の皆様それぞれの言葉で、暮らしや学びに対する思いや、寄附者の皆様への感謝の気持ちが綴られていますので、是非、御覧ください。

令和4年9月 宮城県教育庁総務課長

- ※1 東日本大震災みやぎこども育英基金を活用した事業の実施状況につきましては、宮城県のホームページにおいて、「東日本大震災みやぎこども育英基金 活用事業集」で御紹介しています。
- ※2 宮城県のホームページにおいて、平成24年版、平成29年版及び令和2年版のメッセージ集を御覧いただけます。
- ※3 本メッセージは、令和3年12月から令和4年1月にかけて、令和3年度の受給者等から寄せられたものです。

目 次

受給者からのメッセージ

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 1～18

令和3年度に東日本大震災みやぎこども育英基金奨学金を受給した子どもたちから寄せられたメッセージです。

受給者とその保護者からのメッセージ

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 19～27

令和3年度に東日本大震災みやぎこども育英基金奨学金を受給した子どもとその保護者が、一緒にお寄せになったメッセージです。

子どもの視点と保護者の視点で、それぞれ綴られていますので、御覧ください。

受給者の保護者からのメッセージ

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 28～38

令和3年度に東日本大震災みやぎこども育英基金奨学金を受給した子どもたちの父母、祖父母など保護者の皆様から寄せられたメッセージです。

<おことわり>

メッセージは、個人の特定につながらないよう、学年及び受給者・保護者の別のみを記載しています。

～ 受給者からのメッセージ ～

<小学校4年生より>

私の知らない人が、知らない内に私達を助けています。
自分の服、自分の食料、自分の家があるのは人を助けたい
と思う人、いや、人を助けたいと思う人々の気持ちのお
かけです。学校に行き、遊んで笑うという幸せは、
一人一人が作って助け合って、やっとできると私は
みな様からまなびました。本当に、ありがとうございます
います。



<小学校5年生より>

寄附をしてくれてありがとうございます。

わたしは、小学5年生になりました。11月には花山合宿に行って、山のぼりや、やき板づくりをしました。とても楽しかったです。来年は6年生なので、他の学年を支えられるようにがんばりたいです。



<小学校6年生より>

私は今、塩竈市に住んでいます。震災の前は石巻に住んでいました。震災の時はまだ0才のころで全く震災のことは覚えていません。でも祖母や父、テレビなどの報道でその震災がとても大変だったということを知りました。私はこの震災で母を亡くしました。まだ私は小さかったので母のことは覚えていませんが父が母のことをよく話をしてくれたり写真を見せてくれたので母はやさしくて、すてきな人だったのだなと思いました。私も母のようなやさしくて、すてきな人になりたいと思います。🐣

<小学校6年生より>

寄附ありがとうございます。おかげで生活しやすくなります。私は小学6年生なので、必要なお金が増えていきますので、本当に助かります。

<中学校1年生より>

私は今年から、中学生になりました。

いろいろ大変なことはありますが、これからも部活と勉強とがんばりたいと思います。

寄附もして下さって、ありがとうございます。



<中学校2年生より>

寄附金、送ってくださりありがとうございます。

寄附金も送って頂くことで私や、家族との生活が成り立っていると思っております。

こうして、豊かな学校生活もおくれと、毎日幸せに過ごしております。

おいしいご飯も食べれて、毎日笑って過ごせて、私は寄附金を送ってくださる方々のおかげです。食べることにもお金が必要で、

学費にもお金が沢山必要で、寄附金をもらって食費、学費もはらえています。

寄附金を送ってくださる方々に日々感謝し、旧日、大切に過ごしていきたいと思っております。

< 中学校 2 年生より >

「東日本大震災みやぎ子ども育英募金」にご協力いただき、本当にありがとうございます。私は中学2年生で、毎日頃から勉強をし、成績ではいつもトップレベルです。漢字検定では2級、英語検定では準2級を合格していて、今では更に上の級の勉強をしています。この状態を維持できた要因には、募金を寄せてくださった方々が含まれます。もうすぐ3年生になり受験生になります。受験生になったら志望校に合格できるよう、更に勉強したいと思えます。改めて寄付をしてくださった皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございます。



< 中学校 2 年生より >

寄附をして下さっている皆様、ありがとうございます。私は、吹奏楽部の部員としてフルートを吹いています。夏には吹奏楽コンクールに出場し、県大会金賞をいただくことができました。また、秋にはコンサート、12月にはアンサンブルコンテストとソロコンテストに出させていただきたくさんのことを学ぶことができました。これからも、たくさん練習していきたいです。

勉強面では、2年生になり、だんだん難しくなってきましたが、来年の受験に向けて、コツコツと勉強していきたいです。また、志望校についても考えていきたいです。

学校生活はとても楽しく、友達と毎日笑顔で過ごしています。これも、皆様の温かいご支援のおかげです。

本当にありがとうございます。

<中学校3年生より>

僕は今年の7月に部活動が終わり、今は受験に向けて勉強を頑張っています。

皆様からの寄附のおかげで勉強に集中することができます。

今まで寄附をしてくれた方には、感謝しかありません。

本当に今までありがとうございます。

<高校1年生より>

私は寄附してくれた方々に感謝しています。

今私は勉強に力を入れています。昔から苦手だった数学も、最近ではテストで良い点を取れるようになってきました。

それから私は絵を描くのが好きで勉強の合間に絵を描いて休憩しています。

私が今こうして勉強や趣味を楽しむのも、みなさんが寄附してくれたおかげです。

ありがとうございました。

<高校2年生より>

この度はありがとうございます。

私は高校に入学して陸上競技を頑張っています。

新人戦では、走高跳と7種競技で宮城県優勝し、チームに貢献することができました。

来年はインターハイ出場できるように努力します。

全国でも活躍できる選手になって、東北に栄冠を持ち帰ってきたいです。

3年生は選抜でたくさん悩むと思いますが、悩み続けて自分にとって良い選抜と決めるようにしたいです。

<高校3年生より>

いつも、ご支援をさせていただきありがとうございます。

震災以降、不安な日々ばかりでした。このようなありがたい支援のおかげで、元気に過ごすことができました。

これから10年が経ち、本当におつという間でした。

小学1年生だった私も高校3年生で、来年からは東京の大学に進学し、地元を離れて、一人暮らしをします。

みやぎ子ども育英基金さんの支援がなければ、今の様な状況にはなっていないと思います。本当に感謝の気持ちがありません。これからも、頑張っていくので、よろしくお祈りします。ありがとうございます。

<高校3年生より>

震災から早10年、私は高校3年になり、高校生活を残り少なくなりました。

進路も決まり、専門学校に進学することに決まりました。

皆様からの寄附のおかげで大きく助けられました。

今後、新しい環境でも頑張っていきます。

<高校3年生より>

育英基金奨学金をいただけるようになってから自分の夢だった調理学校に挑戦して合格できました。

全国の皆さんの寄附のおかげでもあるので、

来年春の入学後は皆さんの期待を背負ってがんばりたいと思います。

<高校3年生より>

私は今、とても楽しく充実した日々を送っています。

私は今高校3年生で進路が決まり、冬休みになりました。

高校最後の冬休みはたくさん友達と遊び、バイトも頑張りたいと思います。

4月からは新しい環境で、専門学生として頑張っていきたいです。

残りの高校生活短いですが、くいの残らないように毎日を大切に過ごしていきたいと思っています。

いつも応援していただきありがとうございます。

<高校3年生より>

いつもありがとうございます。皆様の力のおかげで私はさまざまなことに挑戦し、目標を達成することができました。特にお伝えしたいことは部活のことです。私は書道部に所属しており、去年は書道コンクールでの受賞は一つのみでしたが、今年は二つ受賞し、さらにもう一つの作品は去年よりも大きな賞をいただきました。書道経験のある人達と同じくらいの経験ができたのも、すばらしい環境で学ぶ機会を与えてくれた皆様の協力のおかげです。今は大学合格に向けて勉強に励んでいます。社会に出たときに直接的な恩返しにならなくても、私も皆様の力になれるように、これからも学びを深めていきたいと思っています。

<高校3年生より>

私は受験が終わり、趣味に没頭できる時間も増え、ギターの練習を日々しております。私の将来の夢は作曲家で人々の記憶に残る曲を作りたいと考えています。3月11日の東日本大震災も年が過ぎるたびにどんどんあの恐怖も忘れられていくと思います。

私は、音楽の力によって人々の記憶から忘れさせないようにしていけたらと思います。

<大学1年生より>

いつも温かなご支援ありがとうございます。

私は、北海道の大学に進学したため、昨年からは親元を離れ一人暮らしをしています。皆様のご支援のおかげで、経済的な面を心配することなく、有意義な大学生活を送ることができています。これからの大学生活におましてもたくしのことを学び、社会に貢献できるおな大人になることも目標に日々努めてまいります。今後ともご支援よろしくお願いします。

<大学1年生より>

日頃より温かいご支援ありがとうございます。

私は今、大学で保育士になるための勉強に励んでおります。

夢のための勉強や楽しい大学生活を送れているのは皆様のおかげです。

本当にありがとうございます。

保育士になるという夢を叶えるために今後頑張っていけるので、これからもどうぞよろしくお願い致します。

<大学1年生より>

いつもありがとうございます。
おかげ様で、楽しく大学生涯を送ることができています。
勉強はむずかしいですが、友達もでき、毎日大学に行くのが
楽しいです。
これからも、よろしくお勉強します!!

<大学1年生より>

今年は高校を卒業し、志望していた学部のある大学に入ることができ
ました。将来の夢に向けての資格取得のための勉強は大変難しいですが、
志望していた大学で勉強できる喜びを実感する日々です。
また、コロナ禍でも新たな趣味を見つけることもあり楽しい毎日を送り、暗い
世の中でも希望を持って生きています。なので、将来はこれまで支えられていた分
以上に社会を、人々を支え返したいと思っています。

<専門学校1年生より>

私は、今、幼稚園教諭と保育士資格を取る為に保育科のある短期大学へ
通い、一人暮らしをしています。ピアノの課題や製作物の作成、指導案の作成の
仕方等たくさんを学び日々忙しいと感じながら生活しています。皆様のご支援
のおかげでこんな充実した生活を送ることができていることにとても感謝しています。
時には、辛くて苦しい事もあつたりすると思いますが、皆様のご支援があつてこそ
将来の夢を叶える学習ができているとしっかりと心に留めて来年も頑張っていきたい
と思います。実習、就活と2年生はもっと忙しくなると思うので1つ1つ着実に
クリアしながら頑張っていきたいと思います。これからも、ご支援よろしくお願
いいたします。

<専門学校1年生より>

温かいご支援をありがとうございます。

私は今年が助産師の養成学校を卒業し、4月から
夢であった助産師として働くことになりました。

温かく支えて下さったおかげで夢を諦めることなく、

頑張ることになりましたことに本当に感謝しています。

これから、多くの方々と関わり合っていく中で、私も、

少しでも誰かの支えになれよう、という努力をしています
と思っております。本当にありがとうございます。

<大学1年生より>

コロナ禍の中慣れない環境で、様々な問題や課題に直面し四苦八苦し
たこともありました。また社会の大きな変化により、多くの学生が諦
めてしまうという話も聞きました。そのような苦悩の中、自分の夢を
追うことができ、生活に不自由なく勉学に専念できているのも、支援
してくださっている皆様のおかげです。まだ大学生活は始まったばかり
ですが、支えてくれた方々に感謝し、将来次の世代を支えることが
できる人材になれるよう努力していきたいと思っております。

<大学1年生より>

いつもお世話になっております。

私は昨年、短期大学に入学し、今年の4月からは2年生となり、2月から本格的に就職活動が始まってまいります。

上京し、初めての一人暮らしや大学生活、また、コロナ禍での授業や生活などで、自分の暮らしに慣れることで精一杯で、他の事には何も手を回せない状態でした。

私は皆様から寄付して頂いている奨学金は母に管理して頂いています。1人親家庭である、実家の家族から支援してもらう事も多く、その度、親子共々、皆様から奨学金に大変助けられております。本当に、ありがとうございます。

最近は徐々にこの生活にも慣れてきており、生活以外にも手を回せるようになってきました。これも皆様からのご支援があってこそだと思っております。

これからももう少し、皆様のお力をお借り致しますが、どうぞ見守って頂ければと思います。よろしくお願いいたします。

<大学1年生より>

いつもありがとうございます。お世話になっております。

最近は大学生活にもようやく慣れてきて、楽しく過ごしています。一人暮らしにも慣れてきたので、大学2年生からはアルバイトや自炊なども頑張りたいと考えています。また、大学生活については、今後留学したいと考えているので、引き続き勉学に励みたいと思います。また、寄附して頂いた方々の思いに応えられるように、努力していきたいと思えます。私たちが支援してくださる方々に、重ねてお礼申し上げます。

<大学1年生より>

現在、私は大学生です。関東にある農業系の大学に入学し、1人暮らしをしています。新型コロナウイルスの影響で対面授業は多くはありませんが、私の学校では実習があり、実際に外にでて農業について触れたり、対面授業やオンライン授業でも高校では習わない発展したことが学べたり、この1年で多くの経験と知識を得ることができました。自分が学びたいと思っていたことを勉強しているので、とても楽しいです。

また大学生活を通して、たくさんの友達もできました。私は1人暮らしのため、気軽に友達を呼ぶことができ、お泊まり会やパーティーなどをしました。そして、大学は全国から色々な人が入学してくるので、友達の話聞くだけでも勉強になることがありました。これからも多くの人と交流することで、授業以外にもさまざまな経験や知識を得たいと思っています。

<専門学校1年生より>

去年の4月頃に福祉系の専門学校に進学することが出来ました。中学生の時から介護の仕事に興味があり今は、介護福祉士を目指し勉強や、実技に励んでいます。これからも頑張っていきたいと思います。

支援していただいている皆さんありがとうございます。

<大学2年生より>

寄附をしてくださる皆様、ありがとうございます。
震災から約11年が経とうとしている今でも、昨日のことのようにあの日が忘れられません。私は、震災を「乗り越えた」と簡単に言えませんが、当時より確実に前を向けています。それは、大学進学という一つの夢を達成できたからだと思います。この夢が叶ったのは、支援して下さった、寄附して下さいた皆様のお陰です。本当に感謝しております。
社会に少しでも貢献できる人間になれるように、勉学に励んでいきます。

<大学2年生より>

本来であれば、大学に行くこともできなかったところを、
こうして奨学金という形で支援していただいたおかげで
たくさんの選択肢がうまれました。
やりたいうことを探せるということにとてもありがたさを感じて、
何か違う形ででも私も人の役に立ちたいと強く思えるように
なりました。
とても感謝しております。
ありがとうございます。

<大学2年生より>

奨学金のおかげで、大学への交通費軽減や勉学に必要な教材の購入などが出来ています。自分にとって本当に感謝しかありません。
ありがとうございます。

<大学2年生より>

いつもたくさんのご支援をありがとうございます。現在、大学での勉学に励んでいます。今年は実習等もあり、得ることが多かったと感じています。来年、大学3年になるので、自分自身と向き合ういい機会だと思って、進路についてよく考えて決めたいです。
これからも色々なことに挑戦しながら頑張っていくので、応援よろしく
お願い致します。

<大学2年生より>

私は今、仙台の大学に自宅から通学しています。2年生後期の科目は専門的な分野が多くなり、講義についていくのに必死ですがなんとか日々を過ごしています。
育英基金さんから頂いた奨学金は大学の教材代や、通学費などに使用させてもらっています。とても助かっていますしおかげで勉学に励むことが出来ています。
支援して頂いている分、これからも専門教育をしっかりと学び、社会に貢献できる人間になれるよう努めていきたいです。

<大学2年生より>

震災の日から10年以上が経った今でも、何よりも大切な、愛する家族を失った傷が癒えることはありません。気持ちや思い、心身の状態に変化はありますが、何事も無かったような顔で、新しい場所で息を吸って、吐いて、時にはおいしい食事を取り、友人らとお金を使って楽しむ自分の存在に嫌気がさし、のうのうと生き延びていることを疑問に思うことには変わりありません。この10年間以上、ずっとという訳ではありませんが、身の回りのささいなこと一つ一つから何かを考え、涙を流し、心の中で叫ぶ日々を送ってまいりました。今この瞬間も自分が生きていることの価値を疑い続けております。

そんな、虚しく惨めな状態にある私が自らの人生に終止符を打たずにいられるのは、私をこれまでも、今も、これからも生かし続けてくれるのは、残された家族を哀れみ、愛する気持ちはもちろんですが、親を失い、思い出からどんどん遠ざかり、思い描いていた幸せな未来=今をも失った私たちのことを思い、温かい支援の手を差し伸べて下さった皆さまの存在です。この場をお借りして、これまでのご支援と今のご支援に対し、感謝申し上げます。見ず知らずの私たちのためにして頂いたことを、今もこれからも、忘れることはありません。

<専門学校2年生より>

ご支援頂きありがとうございます。みなさまのおかげ様で私は丈夫に20歳というふしめの歳を迎えることができました。コロナ禍の中、成人式もできるか分からなかった世の中ではありましたが、何とか成人式を迎えることができとても心から安心することができました。まだまだコロナの影響は収まりを見せませんが、みな様も体に気をつけて元気にお過ごし頂くことができるよう、常日頃から願っております。

震災当時、小学校4年生だった私と、現在大学3年生になりました。この10年を振り返ると、辛い事も、悲しい日々を思い出してしまう事は何度もありました。その時に私と周囲には、支援をしてくださる方々や、支えられる方々が沢山いるんだという強い気持ちを持たなければならなかった。

来年からは本格的に就労活動がスタートします。自分の10年間の振り返り、何がしたいのか...と考えると、誰かのために何かを支援したい。今年には誰かを支援したいという想いが一番にありました。私は元々、子どもと関わる事が大好きなので、大学では保育について勉強しています。また、実習やアルバイト先で、隣組を抱えている子どもと関わる事があります。

隣組を抱えている子どもが、できない事やできるようにサポートして、話せるようにサポートする事が嬉しい気持ちになります。この日々、子どもも障害を抱えている子どもを支援し、一緒に成長していきたいと思うようになりました。

「誰かのために何かをしたい」という想いを持つたのは支援をしてくださる方々のおかげです。

私は、この沢山の苦難にあうことがあふれると思えますが、みなさんからの温かい支援に感謝を続け、頑張っています。文章からではありませんが、本当にありがとうございました。

<大学3年生より>

大学3年間、育英基金の方々から支援をいただいていたので、何不自由なく大学生活を送ることができました。支援をしてくださり本当に感謝しています。私は今年で、大学を卒業して春から歯科衛生士として働くことになっています。そのため国家試験が3月にあるため、毎日勉強に励んでいます。

3年間、勉強や実習などで忙しく大学生活を送りましたが、たくさんのことを学べ充実した3年間でした。国家試験に合格して4月から歯科衛生士になれるよう頑張っていきたいと思います。

<大学3年生より>

本来ならば諦めるべき医師になるという夢を、みやぎこども育英金により追うことができいております。

様々な方から支援を頂いていることを忘れることはありません。日々勉学に向き合い、将来人を支えられる医師になることで恩返しができると考え、精進しております。

心より感謝申し上げます。

<大学4年生より>

東日本大震災発生から今年で11年になり、当時小学5年生だった私は大学4年生となりました。

今に至るまで、たくさんの方々からご支援をいただき、勉学に励むことができました。そして、これからは新社会人になるにあたり、社会に貢献できるよう精進していきたいと思います。

<大学4年生より>

ご寄附をしてくださった皆様へ

いつもお世話になっております。

震災から10年が経ち、11年目の3月を迎えようとしている現在、
当時小学校5年生だった私も、大学4年生になりました。

あの時は絶望の中でこうした未来が待っているとは思っていません
でした。現在のような恵まれた環境で生活できているのも
寄附してくださった皆様のおかげです。

4月からは社会人となります。この恩を返していけるように、私自身も
社会に貢献していきたいです。

いつもご支援ありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。

<大学4年生より>

いつも大変お世話になっております。

大学4年最後の試験も終わり、研究室配属に向けて日々勉学に励んで
います。

今年は学外実習や2年後の薬剤師国家試験への対策が始まるため、よ
り一層気を引きしめて頑張っていきたいと思っています。

コロナにより、制限がかけられた学校生活ではありますが、将来に向
けて必要な知識を蓄える有意義な時間を過ごしています。

今後ともどうぞよろしくお願いたします。

～ 受給者とその保護者からのメッセージ ～

<小学6年生と保護者より>

今は得意な国語の勉強をがんばっています。より深く、考えて取り組むようにしています。勉強して、失ったものを少しでも取りもどし、何かを得ることができるようにこれから、がんばっていききたいと思います。

(小学6年生より)

奨学金をいただきながら、10年すぎました。

ありがとうございます。

私達は、蒲生で震災になり、母親がなくなり岩手県に来ました。まご達3人を、祖父母が見ています。大きい子は、高校生になり、お金も必要となり、奨学金のおかげ様にてたすけていただきありがとうございます。寄附して下さっている方々ほんとうにありがとうございます。

(保護者より)

< 中学1年生と保護者より >

支援を受けることで、中学受験ができて、
希望の中学校にも通うことができ、
充実した学校生活をおくることか
できています。本当にありがとうございます。
ございます。

(中学1年生より)

震災の時、2才だった子も現在13才になりました。
元気に学校生活を送れているのも長期にわたる
継続したご支援のおかげだと親見子ともども
感謝しております。ありがとうございます。

(保護者より)

< 中学2年生と保護者より >

私は管弦楽部に所属しています。
今年はたくさんのコンサートに参加することができました。
東日本大震災のときは3歳だったので、あまり覚えていませんが、
今まで幸せに暮らせているのは皆様のおかげだと思います。
本当にありがとうございます。

(中学2年生より)

いつもご支援いただきありがとうございます。
東日本大震災時私は日本に嫁ぎ、10年6ヶ月でした。
やっと日本語が喋るようになったと思う時期でもありましたが、
でも、地震の経験ゼロの私は怒る言葉以外は喋らなくなっていました。
これから生まれて来る赤ちゃんの事、7、5、3の子ども達の事、
どうしたら良いのか考えるだけで涙が溢れました。
今、ここに子ども達4人を安心して育てる事が出来たのは
皆様方のご支援のお陰です。
感謝して感謝しきれません。本当にありがとうございます。
ございます。

(保護者より)

< 中学3年生と保護者より >

東日本大震災みやぎこども育英基金奨学金について

私は、父から話を聞かされました。私達の為に、全国から支援してもらっている事、本当に有りがとうございます。私はやるべき事それは、勉強と部活でした。部活はサッカーで県大会へ出場できた事、とても嬉しかったです。今は、高校受験を控え、勉強に努力しています。頑張っていくので、これからもご支援お願いします。

(中学3年生より)

東日本大震災みやぎこども育英基金奨学金について、全国の皆様方から、心暖まるご支援に感謝申し上げます。又、同じ関連業務に関わる、関係者の皆様方へ、重ねて感謝致します。

私は、男三人の子供達がお世話になっています。現在一番目は社会人となりました。二番目は高校受験を控えています。三番目は中学生です。おかげで子供達は、健全に成長しています事を、ご報告します。有難う御座いました。

(保護者より)

<中学校3年生，高校2年生，高校3年生と保護者より>

僕は中学3年生になり、勉強と部活を頑張っていました。けれども、今は中総体が終わり受験勉強に専念して頑張っています。毎日、勉強ばかりで疲れてしまったりストレスがたまってしまうたりしています。だから、ときどき体育館をとったりして、バレーを趣味で最近しています。冬期講習が今はあり、朝から晩までなのでさらに疲れますがだんだん分かるところが増えていっているのが実感できています。これも支援してくださるみなさまのおかげです。

改めて毎年のご支援ありがとうございます。 (中学3年生より)

最近、人生の目標のようなものがハッキリとしてきました。以前までは、なんとなくで生活してきましたが、その分を有意義に使えるようになりました。

私は他人に負けたくないきらいがあるようで、超えたい壁を見つけることができれば、一途に努力することができると分かりました。そのため、私は、常に新しい事に挑戦を続け、多岐にわたる分野での技術を手に入れることを人生の最終目標としました。

まずは勉強から、磨き、その後に自分の興味がある分野に挑戦してみたいと思います。

(高校2年生より)

今、私は高校3年生になりました。

今年は受験期なので毎日勉強をととても頑張っています。

志望校に合格できるようにこれからも頑張っていきたいと思いま
す。毎年、ご支援いただき、まことにありがとうございます。

心から感謝しております。

(高3年生より)

高3、高2、中3の男子3人。思春期の難しい年頃ですが、それな
りに反抗期を迎え、悩み苦しみ成長しています。

高3の長男は希望する大学へ入学するために受験勉強を頑張っ
ています。

高2の二男は心が強く、人に流されることなく、自分なりの道、生
活を満足して過ごしております。

中3の三男は1番面倒な中2病の時期が過ぎ、彼なりの頑張り
で受験勉強に取り組んでいます。

3人がそれぞれその時その時を目標持って生活できているのは生
活が安定しているからです。

ご支援に深く感謝いたします。

(保護者より)

<高校1年生と保護者より>

いつもご支援ありがとうございます。

今、私は学校の勉強や部活、習い事などさまざまな事に取り組んでいます。ご支援のおかげで何不自由なく活動できています。

今年から高校生になり、中学生の時と比べられないほど忙しくなっていて、大変ですが、将来の夢に向けてがんばっています。

まだ高校生1年生ですが、現時点での志望校へ入れるように勉強に切磋琢磨しています。

これからも精進していきますのでこれからも応援していただくとありがたいです。

(高校1年生より)

こども育英基金奨学金を受給をしてもらってから、もう十年になりました。

さびしかったり、かなしかったり、くやしかったり、心ぼそかったり、いろいろありましたがおかげ様で、娘は希望をしていた高等学校に入ることができ、がんばっているようです。

それも、これも、こども育英基金奨学金があったからこそ、あまりみじめな思いもせず、やってこられました。ただただ感謝です。娘の姿を見ている自分も力づけられ、がんばれます。

妻をなくしたのはわすれることができませんが、娘は心も体も成長している姿を見ると元気づけられます。ねむれない夜は、やはり、津波を思い出し、なみだがこみあげてきます。朝、娘の姿を見ると元気づけられます。私の生きがいです。昨年からコロナさわぎで支援してくださる皆様も大変でしょうが、よろしく願い申し上げます。

(保護者より)

<大学1年生と保護者より>

入学からもうすぐ1年が経とうとしています。コロナウイルスの影響で授業は動画配信と昼食をしない午前か午後の授業のスタートでした。対面授業が始まり電車通学と学校生活に慣れることが大変なところもありました。感染者数が落ち着き始めた頃に学校生活にも慣れ、学校の課題にありますボランティア活動に参加することも出来ました。理学療法士になるためのコミュニケーション力を高めることを学び、学校では基礎知識を多く学びました。ご支援していただいた方に良い姿をお見せ出来るよう学校で学び得たことを活かし次のステップに励みます。

(大学1年生より)

大変お世話になっております。

昨年4月、電車通学に不安を持って（※電車の事故が多く帰宅がむずかしい時もあり）何度も仙台で一人暮らしを考えていた本人でしたが、皆様にご支援いただいたお金を大切に使うために参考書代や臨床実習のための感染症予防接種代など学校の活動を不備なく進めるために活用してました。その他では私一人では支えていけるかと不安になってましたが、温かいご支援により本人をサポートする力も尽きることなく無事1年終えることもできました。ありがとうございました。

(保護者より)

<大学4年生と保護者より>

支援ありがとうございます。

(大学4年生より)

いつも支援していただきありがとうございます。

コロナの関係で本人は体調がすぐれない日が続いている状態なので私達も心配でなりません。早く終息してほしいです。

これからもよろしくお願いします。

(保護者より)

～ 受給者の保護者からのメッセージ ～

<小学校4年生の保護者より>

いつもご支援ありがとうございます。
早いもので小学校生活もあと二年弱となりました。
震災直後に産まれた子が、今まで何、不自由なく
育てられたのは、たくさんの方のお陰だと、
心から感謝しています。
今は、4才から始めた、そろばんや、ピアノを毎日
一生懸命練習して、大会や、試験に向けて、
がんばっています。少々おてんばではありますが、
これからも元気に育ててくれれば、親としてもうれしいです。
いつも本当にありがとうございます。

<小学校4年生の保護者より>

震災の時、まだ母親のお腹の中でした。健診は行けず、病院に行けたのは、産まれる直前でした。ぶじに産まれて良かったです。
それから10年、色々ありますが、健康に恵まれ日々嬉しいです。
本当にありがとうございます。

<小学校5年生，中学校1年生の保護者より>

いつも大変お世話になっております。

早いもので、世の中ではひと区切りの10年が経た...と言われてはますが、私達にとってはやっと10年、また10年でした。家や中物と違い、取り替える事も追いかける事も出来ない、大切な家族を失い、今もまだ辛い気持ちが消える事はありません。一番手をかけ、気持ちにゆとりと持て子育てしていくはずが...気力体力共に余裕がなく、子供にもさみしい思いや時に我慢させていると感じながらも日々の生活をこなす暮らしてです。両親2人分の愛情を注ごうと思っても、現実は今もあの日から毎日同じ苦しみとたたかっています。その中で、支援して頂いている事が大きな心の支えになってお

ます。両親そろって与えられる愛情は無いけれど、せめて生活に必要な物、本人が習いたい事を他の子同様に出来る環境にしてあげたいと思いながら育ててきました。

震災後、体調を崩しがちですが、支援のありがたみを感じながら生活しております。

下の子がまだ小学生、当時は産まれて尚もないですが、末長く安心して私達が生活出来るよう、サポートして頂きますとありがたいです。本当に、この支えに心から感謝しております。ありがとうございました。

<小学校5年生の保護者より>

皆様からご支援いただき本当に感謝しております。大震災から、はや10年が過ぎ、被災した自宅周辺も道路、建物等と大分、復興が進んだように思います。しかし、当時のことを振り返ると、まだまだ心が痛みます。当時4ヶ月だった孫も、はや小学5年生と育りました。現在は勉強、遊びに友達と共に元気いっぱいです。支援金については、ありがとうございました。大事に利用させていただいております。

これからも、前向きな気持ちで過ごして行きたいと思っております。

<小学校6年生の保護者より>

ご寄附いただき、ありがとうございます。
小学校6年生になり、勉強に運動に頑張っています。
来年度から中学校になります。これまで以上に頑張らせてほしいです。
本当にありがとうございます。

<小学6年生の保護者より>

震災を経験し、黒の絵を書いていましたが、幼稚園、小学校に通い、充実しカラフルな絵を書けるようになりました。

夢を目指し、成長して行きたいと思います。

寄附をして頂いた方々本当にありがとうございます。

<小学校6年生、高校1年生の保護者より>

当時5才だった娘が今年高校生になりました。制服や教材、定期代等、お金がたくさんかかる事におどろきました。4月からは息子も中学生になります。子供たちの成長が励みとなり、楽しみです。

改めて、みな様のご支援に感謝しています。ありがとうございます。

コロナウイルス感染に関する不安やいろいろな制限など大変な世の中になってしまいました。

みな様も、お体に気をつけてお過ごしください。

< 中学校 2 年生，短期大学 1 年生の保護者より >

これまで、長い間、沢山の方々にお世話になり、
子供達も大きく成長でき、現在、娘は夢に向かい
短大で勉強しています。一人暮らしになり、私としては心配です
が、勉強と日々の生活とアルバイトを頑張っているようです。
息子も、楽しく学校に通い部活に一生懸命打ち込んでいます。
今、コロナ禍で、皆さんが大変な思いをしている中、それでもご支
援下さり、温かいお気持ちをいただき、感謝の気持ちでいっぱい
です。
いつか、子供と共に、皆さまにお返しができますよう、
今後も頑張ってまいります。本当にありがとうございます。

< 中学校 3 年生の保護者より >

いつもご支援いただきありがとうございます。
初めての高校受験。父親に相談する事も叶わずとても不安に感じており
ます。子どもからもお金大丈夫？と聞かれますが、それは大丈夫。
応援してくれる方がいるから安心してと答える事が出来ました。本当に
皆様には感謝しています。子どもには困っている人を助けてあげられる
大人になれるようしっかり学んで社会に恩返しして欲しいと思ってい
ます。

<中学校3年生の保護者より>

いつも大変お世話になりました。有難うございます。
早いもので大震災より10年が過ぎ、皆様方のご支援のおかげで、今は普通に近い生活を送れるようになったと思っています。
現在は高校入学試験に向けて勉強を頑張っているところです。ご支援のおかげで塾をはじめ本人の希望に沿った教育の場を提供できています。
心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

<中学校3年生の保護者より>

いつもありがとうございます。震災当時4さいだった娘も中学3年生になりました。あの頃は、小さな子供とこれからどうしよう、、、ととても不安な気持ち、そしてくやしい気持ち、悲しくて仕方がない気持ちでいっぱいでした。外出して家族連れの人達を見るたびに哀しくてやり場のない気持ちで過ごした日も多かったです。けれどそんな時も、会ったこともない誰かがどこかで応援してくれてる！！と感じるととても救われる気持ちになり、頑張れた気がします。本当に感謝しております。

<高校1年生の保護者より>

震災で妻を亡くし、10年の月日が過ぎました。息子の成長した姿を見ると、全国から支援して下さった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。震災当時、5才になったばかりの息子も現在、高1となり、高校生活を楽しんでます。息子が社会人となり、一人歩き出来るまでにはもう少し、時間がかかります。私も精一杯、仕事をがんばります。みなさんから頂いた支援金のお返しにはもう少し時間がかかると思いますが、感謝の気持ちを忘れず、息子が社会人になった時には、二人で全国のみなさんに、お返ししたいと思います。全国のみなさん本当にありがとうございます。

<高校1年生の保護者より>

日頃よりたくさんのご支援に感謝申し上げます。震災で母親（私の娘）と弟を亡くした孫（当時5歳）を養育することになり、“必死”に過ごしてきました。その孫も高校生に。今年の4月には二年生に。勉強と部活の両立は大変そうですが、新しく友達もでき、楽しんで生活している様子が孫の話しから伝わってきます。

部活は中学校から引き続き吹奏楽部。孫の奏でるオーボエの音色が私は大好きです。コロナで中止になることもありましたが、コンクール、定期演奏会、イベント等に、私たち祖父母は、他の保護者と一緒に追っかけをしております。孫と一緒にいるからこそ、味わえる体験です。入学式、卒業式と節目節目の行事は勿論、普段の生活に於いても娘がいてくれたら、、と思うことが多々あります。が、孫の前向きな姿、将来の目標に向かって頑張る姿を側で見ていると、私たち（祖父母）も「孫に負けてはいられない！」そんな気持ちにさせられます。

5、6年前ある知人から「孫さん育てられていいね」と言われたことがあります。「何でいいの？」と複雑な心境でしたが、今は、「孫と一緒に最高だよ」と思えます。60過ぎの子育ては戸惑いもあり大変でしたが、それ以上に孫の成長を側で見守れる楽しみもあります。

いつかは私たちの元から自立していくかもしれない孫ですが、皆様のご支援をいただきながら頑張っていこうと思います。

どうぞ今後ともよろしくお願い申し上げます。

<高校3年生の保護者より>

いつも大変お世話になりまして有難うございます。
早いもので大震災より10年が過ぎ、皆様方のご支援のお陰で、今は普通に近い生活が送れるようになったと思っています。現在は大学入学共通テスト及び二次試験に向けて勉強を頑張っているところです。志望大学は首都圏の大学を目指していますので自宅から離れ、また一歩新しい生活を踏み出すことができます。ご支援のお陰で様々な選択肢も生まれ感謝申し上げます。ありがとうございます。

<高校3年生の保護者より>

いつもご支援いただきありがとうございます。
皆様のおかげで金銭的に何不自由なく生活することが出来、とても感謝しております。
早いもので震災当時小学校1年生だった子供も今年3月高校を卒業します。
長い間 本当にありがとうございます。

<高校3年生の保護者より>

震災からまもなく11年になります。その間ずっとご支援いただきありがとうございます。将来の夢、目標に向かって頑張っております。ずっと助けていただいた分、次はみなさんに恩返しができるように！！

<高校3年生の保護者より>

いつも御支援ありがとうございます。

おかげ様で、元気で頑張っています。

(大学進学の手配で) 共通テストを終え少しホッとしたのか、少しだけのリフレッシュしています。国立の前期に向けあと少しの期間手が抜けません。今後共よろしくお願い致します。

<高校3年生の保護者より>

明けまして、おめでとうございます。

今年もコロナの再拡大で年が明け、残念に思います。

震災時は、小1でしたが、早いもので高3となりました。

母親と妹を亡くしておりますが、震災の事は勿論、母親と妹との思い出等をいまだに、話す事はありません。話したくないのか、私(祖母)には、記憶から消してしまっているかのようにみえます。

それでも、ふさぎこむ訳でもなく、友達と楽しく遊んだり、明るく育てている事が救いと思っています。

皆様からの支援によって、習い事や塾等にも、人並みに通わせる事ができ、音響関係の専門学校に進路が決まりました。

東日本大震災後も、全国各地で色々な災害がおきる中、継続して支援していただいている事、本当に言葉では言い表せない程感謝しております。

皆様のお気持ちを無駄にしないよう、頑張ってくれると思っています。本当に、ありがとうございます。

<大学3年生の保護者より>

より高みを目指し、様々な先生の学びを得る為
大学への編入をしました。あと1年で卒業となり
ますが、しっかり身に付くものと信じております。
学びの選択肢を持てたのも、基金からの後支え
あっての事と考えています。ありがとうございます。
あと1年、よろしくお願ひします。

<大学3年生の保護者より>

東日本大震災みらい基金にも育英基金により娘は
現在大学3年生になりました。

いよいよ今年4年生。自分の目指す場所、
志を持ち、全力で学んでもらうこと。

基金を通じて支援頂いた方々への感謝の証と

なるはずです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

<大学4年生の保護者より>

コロナ禍で就職活動に苦労していたようですが、何とか就職も決まり、この春から社会人になります。ひとり親にとって、基金を頂けた事で、通学時の交通費やらゼミ仲間との社会貢献活動への参加にも取り組む事が出来ました。ありがとうございます。

<保護者より>

みやぎこども育英基金のおかげでこれまでやってこられたと思っています。私事で職場を異動になり、その前から精神的にひどいところに、ちがう所について、一所懸命がんばりましたが、きづいたら仕事ができなくなって、今まで、子供たちのためにがんばってきたのに、ここにきてなんでと自分をせめてばかりでした。毎日少しずつよくなってはいますが、なかなか前に進めず、落ちこむこともあります。今まで基金でお世話をいただいた方の思いも受けとめてがんばっていきたいと思います。息子も就職が決まり、これからの事が不安でイライラしたり、自分でも悩み事も沢山あると思いますが、家族で、毎日がんばっていきたいと思っています。

本当にありがとうございます。

皆さまもお体に気をつけてください。

<大学4年生の保護者より>

何時もご支援頂きまして大変有難うございます。

震災から早11年が経とうとしておりますが、お陰様で今年3月には仙台大学を卒業し震災で他界した亡き母と同じ介護関連の施設へ就職が内定いたしました。

今後は皆様から支えて頂いた事に感謝しながら介護の仕事をしていきたいと本人も話しており、今まで色々な方々にお世話になった分少しでも社会へ恩返しのできる大人になることを期待しております。

ご支援頂きました方々、県教育庁の方々には心より御礼申し上げます。長い間支えて頂き本当に有難うございました。

発行：令和4年9月

宮城県教育庁総務課

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号

T E L 022-211-3613

F A X 022-211-3699

E-mail kyoikgy@pref.miyagi.lg.jp